

令和7年度 麻生総合高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題 (下線は重点課題)	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底)	法令遵守の意識を向上させ、公務外の非行を防止する。全職種の職員に対し指導を行う。	「神奈川県公立学校職員の倫理に関する指針」を配付し、法令遵守、教育公務員としての自覚を再確認し、法令遵守を呼びかけた。不祥事防止研修会において、公務員としての自覚と倫理意識を持ち行動するよう意識啓発を行った。会計年度任用職員に対しても研修資料配付や日常の声掛けを通して意識啓発を行った。
職場のハラスメント (パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	職員同士が互いにしつかりとコミュニケーションをとり、円滑な人間関係を築き、良好な職場環境をつくる。	毎月、不祥事防止会議を開催し、職場環境の点検を行った。全職員が報告・連絡・相談を心掛け、対応すべき事案に対しては即時に組織的対応を行った。人権尊重の立場から、丁寧で共感的な言葉遣いや執務室内での会話の内容に注意するように呼び掛けた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	何事にも疑義を持たれないよう職員の人権意識を向上する。	7月にわいせつ・セクハラ防止を含む不祥事防止研修会を実施し、事例集、自己点検シートを活用して共通認識を持ち、人権意識を高めた。全職員が報告・連絡・相談を心掛け、対応すべき事案に対しては即時に組織的対応を行った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切指導を未然に防止する。	寄り添う指導を心がけるとともに、指導する際は複数態勢で臨むなど組織的対応を行い、生徒理解に基づく指導を徹底した。全職員が報告・連絡・相談を心掛け、対応すべき事案に対しては即時に組織的対応を行った。
<u>成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止</u>	マニュアルに基づき、点検を確実にを行い、成績処理及び進路に係る事故を防止する。	定期試験・成績処理・進路関係書類の作成に関して、作業期間に入る際には担当グループから毎事故防止を呼び掛けた。答案用紙の管理については特に注意を促した。成績処理要項の視認性を高め、要点を整理して使いやすいものとした。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 (パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報の適正管理により、流失事故・誤廃棄を未然に防止する。	不祥事防止研修資料により個人情報の取扱いについて注意すべき具体的な事項を再確認した。書類やデータの整理整頓を進め、廃棄の際の手順を確認し、徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルール・マナーを遵守し、違反者を出さない。	不祥事防止研修及び打合せ時において、運転に際する注意喚起を行い、特に酒酔い・酒気帯び運転は絶対にしないこと、酒酔い運転の車に同乗しないことを周知徹底した。

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行上の事故を未然に防止する。	不祥事防止会議において、グループや年次の業務体制の課題について話し合い、総括教諭を中心に業務改善を図った。風通しの良い職場づくりを目指し、日常の情報共有を進め、何でも相談しやすい雰囲気作りに努めた。
財務事務等の適正執行	私費・県費の会計処理をルールに則り適正に執行する。	「神奈川県財務規則」「私費会計基準」に則った適正な会計処理を徹底した。私費執行業務は迅速に行うよう呼びかけた。
<u>職員のワークライフバランスの実現と、心身の健康保持</u>	教職員の仕事と私生活のバランスの見直しや働き方改革を推進する。	デジタル化やデータ上での情報共有を進め、時間内の仕事の効率化を図った。業務が集中しないように管理職や総括教諭が適宜助言を行い、職員の心身の健康が保持できるように努めた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

達成状況

- ・全教職員が人権意識を強く持つことが不祥事防止につながるという考えのもと、研修や啓発等に定期的に取り組んだ。
- ・問題の未然防止のために、小さな事案にも組織的対応を行った。
- ・報告・連絡・相談がしやすい、風通しのよい職場作りに努めた。

課題

- ・業務を個人で抱え込まず、組織として取り組む体制をさらに強化する。そのためにも年次やグループ、職にかかわりなくこれまで以上に活発にコミュニケーションを取る機会を作る。完校に向け、文書や物品の確実な管理を行う。
- ・令和8年度も重点課題を絞ったプログラムを策定して取り組む。